

徳島大学 インターナショナルオフィス ニュース

No. 40
2024.3

2023年後期 渡日前入学許可制度・日本留学フェア・大学進学説明会

渡日前入学許可制度

2015年度にドンズー日本語学校（ベトナム ホーチミン市）と開始した渡日前入学許可制度も、2017年度に時事日本語学院（韓国 ソウル）、2022年度に帝京マレーシア日本語学院（クアラルンプール）と対象校を拡大し、2023年度にはモンゴルの城東教育センター（ウランバートル）を含む4校となりました。2023年度に関しては、合計8名（時事日本語学院：2名、帝京マレーシア日本語学院：6名）が応募し、選考の結果、8名全員が合格（1名辞退）し、この4月から理工学部（6名）と生物資源産産学部（1名）に入学する予定となっています。

2016年に渡日前入学許可制度を実施してから、2024年4月までに受け入れた留学生は合計35名となりました。今後も多くの優秀な留学生を本学に迎え入れるために、対象校を拡大し、事業を展開して行く予定です。

日本留学フェア

2023年11月25日（土）、26日（日）にベトナム ホーチミン市、ハノイ市で開催された「2023年度日本留学フェア」に参加し、徳島大学について紹介・説明しました。本学のブースに関しては、ホーチミン市のフェアでは30名、ハノイ市のフェアでは53名が訪れ、入学するための試験、奨学金・授業料免除、大学寮、生活環境などについて情報収集を行いました。



大学進学説明会

2023年11月2日（木）に、大阪大学で開催された「国費留学生のための大学進学説明会」にオンラインで参加し、同大学で日本語を学んでいる14名の留学生（韓国：3名、レバノン・タイ：各2名、シンガポール・インドネシア・マレーシア：各1名、不明：4名）に対し徳島大学について紹介・説明しました。

参加者からは、就職率、希望学部周辺での実習先の有無などについての質問があった。薬学部希望の学生については、本学で2名の国費留学生が在籍していること、入学後には手厚いサポートが受けられることを説明した。



後期 海外研修プログラム報告

【春休み 海外留学】

2023 年度春休みの短期留学プログラムは、トリニティウェスタン大学（カナダ）、オークランド大学（ニュージーランド）、セントポール大学フィリピン、デラサールアラネタ大学（フィリピン・オンライン）で実施しました。海外現地留学には、それぞれ15名、6名、7名、オンライン留学には7名が参加しました。24 年夏休みは、前述のいくつかのプログラムに加え、南イリノイ大学（アメリカ）、マレーシアマラッカ技術大学でのプログラムも実施する計画です。JASSO の海外留学に対する奨学金の支給も決まっています。



海外危機管理オリエンテーション

海外危機管理オリエンテーションを、2024年1月22日（月）18:30～20:00まで第三島けやきホールで行いました。このセミナーは、海外でトラブルに巻き込まれないための予防策だけでなく、万が一巻き込まれてしまった場合の対応策などについて理解してもらうためのもので、春の海外研修プログラムに参加する学生をはじめ多くの学生が真剣に耳を傾けていました。



国際展開推進シンポジウム を開催しました

2024年3月8日（金）、第18回徳島大学国際展開推進シンポジウム「母国で振り返る私の徳島大学留学生時代」をパークウェストンホテル&ウェディングで開催しました。今回は、中国、エジプト、マレーシア出身の徳島大学修了留学生3名を講師として招き、徳島大学での留学生生活や現在の取組みについて講演を行いました。参加した42名全員が各講演に耳を傾けていました。





インターナショナルオフィス 最近の主な活動

グローバルパーソン集中プログラム（GRIP）

23年度後期（第6期生）には、4学部から1～3年生の10名が参加しました。今学期も異文化理解と英語学習を目的に、バラエティに富んだセッションを行い、24年2～3月には2名がカナダ、1名がニュージーランド、7名がフィリピン・オンライン留学をしました。外国人留学生との徳島文化理解講座、マレーシアの大学の英語教員によるオンライン授業、海外大学の学生とのオンラインセッションや日本に関する英語でのポスター発表、それに英語落語家喜餅（きもち）氏による英語落語講座（「英語 De 落語を楽しもう」）などを行いました。



ポスターセッションの様子



喜餅氏による英語落語講座

日本語教育

【日本語研修コース】 今学期は、ガーナ、ジンバブエ、中国、バングラデシュ、フィリピン、モンゴルの留学生9名が半年間、日本語研修コースで日本語を学びました。新型コロナの影響も少なくなったため、すべての授業を対面で行い、日本文化を学ぶセッションやイベントも実施しました。コロナ禍後初めて、京都への研修旅行も行いました。また、地域の小学校で自分の国を紹介したり、日本人学生らを対象にポスターでのプレゼンをしたりして、座学だけでなく周りの日本人と交流することで日本語能力を向上させることもできました。

【総合日本語】 常三島キャンパスでは「初級1」「中級1、2、4」、蔵本キャンパスでは「初級1、2、3、4」を開講し、合計36名の外国人留学生が日本語を学習しました。週2回3時間の授業ですが、学生たちは自分の研究をしながら日本語学習もバランスをとって行っていました。



小学校で日本語による自国紹介

留学生のための就職支援

今年度は留学生就職支援プログラムとして計10回のセミナー・イベントを計画しており、後期はそのうち5回を実施しました。

- ・「日本語面接への対策をしよう」10月13日（金）
- ・「卒業生の就活・就職体験を聞こう」11月10日（金）
- ・「就労ビザについて学ぼう」1月19日（金）
- ・「就職合同説明会について学ぼう」2月9日（金）
- ・「日本企業研究・県外企業訪問」2月16日（金）

「日本企業研究・県外企業訪問」の回では、岡山県のセリオ株式会社と両備ホールディングス株式会社を訪問しました。会社内での実際の業務風景を見学し、実際の現場で働く外国人社員から直接意見やコメントを聞くことができたことは、留学生の就職活動を大きく後押しするものとなりました。

また、2023年11月27日～29日には、サンスター株式会社徳島工場でのインターンシップを実施し、創成科学研究科と薬学研究科の留学生各1名が参加しました。



株式会社セリオでの座談会

留学生への生活指導・多文化体験交流会

【留学生への生活指導】 本学に入学した新入留学生に対し、留学生活の円滑化を図るために、前期及び後期に常三島・蔵本キャンパスでガイダンスを開催しています。後期は10月30日（月）に蔵本地区で、11月1日（木）に常三島地区で開催し、計28名の留学生が参加しました。ガイダンスでは教員からの説明に加え、徳島中央警察署の講師が防災、交通安全、110番通報の仕方などについて解説しました。ガイダンス終了後には、徳島地域留学生交流推進協議会の関係機関から寄付していただいた食料品や日用品等を希望者に配付しました。また、11月1日（水）には、常三島地区で消防訓練を行いました。東消防署から119番通報の方法、火事の予防方法、火事が起こった時の対応などについて説明を受け、その後、訓練用の消火器を使って消火器の使い方の指導を受けました。

【多文化体験交流会の実施】 2023年10月27日（金）に、インターナショナルオフィスと徳島地域留学生交流推進協議会主催で、多文化体験交流会が実施されました。当日は、外国人留学生、日本人学生、外国人研究者に加え、地域の国際交流団体の方々等、約100人の参加があり、交流会の中では留学生によるダンスや歌が披露されました。



留学生ガイダンス



消防訓練



多文化体験交流会

